

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/29 （3/22との比較）	3/29 （3/22との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.62% （+0.02）	83.02円 （+1.42%）	+1.6% 2018年4Q	1.75%	発表された貿易収支は赤字額が前月比で縮小し、GDP（国内総生産）は、石油を除くセクターが好調で市場予想を上回る内容。カナダドルは対円で上昇。年内の追加利下げ予想が後退する中、国債利回りは小幅上昇。	製造業PMI（購買担当者景気指数）や雇用統計が発表予定。4月中旬のG20（主要20カ国・地域）の財務相・中央銀行総裁会議を控え政策期待が持続するとみられる中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.15% （▲0.07）	28.26円 （+0.46%）	+1.1% 2018年4Q	6.50%	発表された失業率は前月比で上昇し、中銀が2019年の経済見通しを下方修正。年金改革法案が議会で受け入れられず、難航するとの見方も台頭する中、レアルは対円で一時下落するが週を通じては上昇。国債利回りは低下。	貿易収支や鉱工業生産などが発表予定。ボルソナロ大統領の年金改革関連の政策など、引き続き政治関連の動きに注目が集まる展開を想定。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.84% （+0.06）	5.70円 （▲0.92%）	+1.7% 2018年4Q	8.25%	発表された貿易収支は市場予想を上回る内容。中銀は、経済の不確実性や格下げを巡るリスクに言及する中、政策金利の据え置きを決定。メキシコペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業PMIや消費者信頼感指数が発表予定。トランプ大統領の国境に関する政策動向などが注目される中、世界的に政策対応への期待が下支えすることもあり、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/29 （3/22との比較）	3/29 （3/22との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.78% （▲0.06）	78.64円 （+1.01%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	中銀高官は、堅調さを示す雇用統計を信用すると表明。中国の製造業PMIが景気改善・悪化の分かれ目となる50を4カ月ぶりに上回る内容となる中、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	企業景況感や小売売上高、貿易収支などの発表の他、金融政策決定会合の開催が予定。政策金利の据え置きが想定される中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	1.81% （▲0.18）	75.88円 （+0.26%）	+2.3% 2018年4Q	1.75%	中銀は金融政策決定会合にて政策金利を据え置く中、景気見通しを下方修正し、次の動きは利下げになる可能性を示唆。ニュージーランドドルは対円で一時下落するが、週を通じては上昇。国債利回りは低下。	住宅価格や商品価格などの経済指標が発表予定。世界的に慎重な金融政策姿勢を示される中、同国中銀がそれに追随したと認識。値動きはやや行き過ぎとも考えられ、ニュージーランドドルは一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.55% （▲0.02）	12.85円 （+0.05%）	+1.7% 2018年4Q	1.00%	発表された経済指標は、小売売上高が市場予想及び前回の内容を大幅に下回る結果。市場では週後半にリスク許容度が回復したこともあり、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	製造業PMIや鉱工業生産などが発表予定。世界的に慎重な金融政策姿勢が示される中、国債利回りの低位での推移が続く見通しで、ノルウェークローネも上昇しにくい展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/29 （3/22との比較）	3/29 （3/22との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.75% （▲0.16）	7.65円 （+0.81%）	+1.1% 2018年4Q	6.75%	発表された財政収支や貿易収支は市場予想を上回る結果。中銀は、政策金利とインフレ見通しを据え置く。格付機関が予定されていた見直しの公表を延期する中、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIなどが発表予定。国内の注目材料は少ないものの、主要国で注目される経済指標が多いことなどから、債券・為替ともにグローバルの市場動向に左右されやすい展開を想定。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.15% （+0.03）	0.78円 （+0.74%）	+5.2% 2018年4Q	6.00%	発表された消費者信頼感指数は、やや強めの結果となったものの、相場への影響は限定的。円が大半の通貨に対して弱含み推移となったことなどから、ルピアは対円で上昇。国債利回りは上昇。	製造業PMIや消費者物価指数などが発表予定。引き続き海外の材料を起点としたリスク許容度に影響を受けやすい環境の中、債券・為替市場は海外動向を見ながらの一進一退の展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.93% （▲0.04）	1.60円 （+0.53%）	+6.6% 2018年4Q	6.25%	発表された雇用者数は前回数値を上回る内容。下院選挙を控えて、インド国民会議派が選挙公約として貧困層への最低収入保障を表明する動きもみられる中、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIなどが発表の他、金融政策決定会合の開催が予定。政策金利の引き下げが想定され、選挙を控えて政治動向も注目される中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

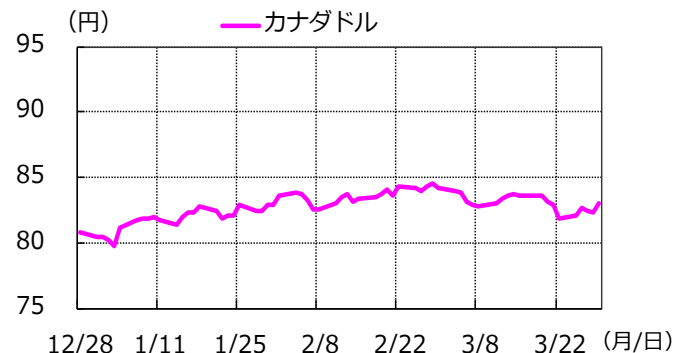
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

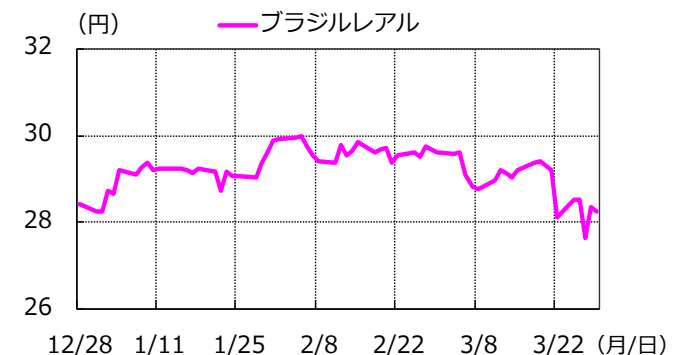
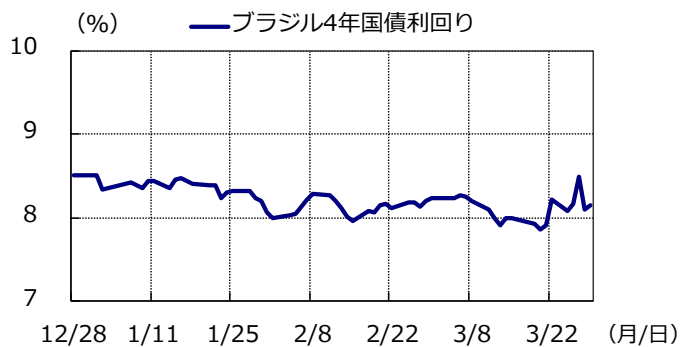
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/28～2019/3/29

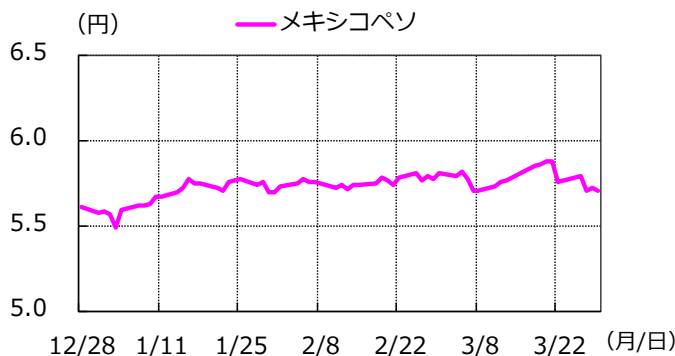
カナダ



ブラジル



メキシコ

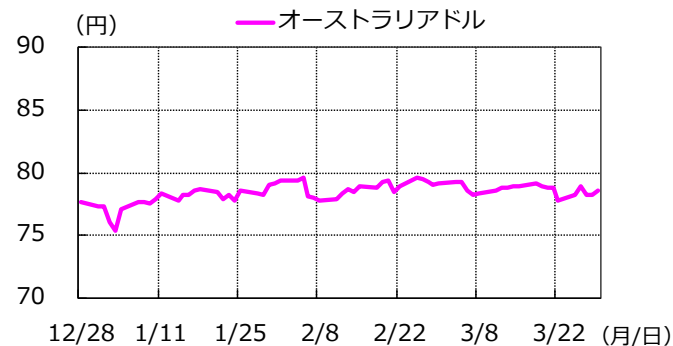
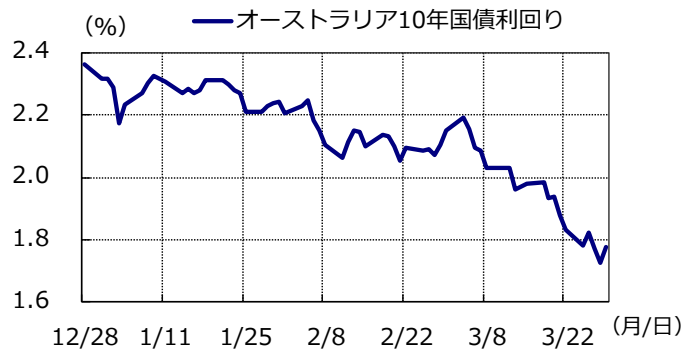


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

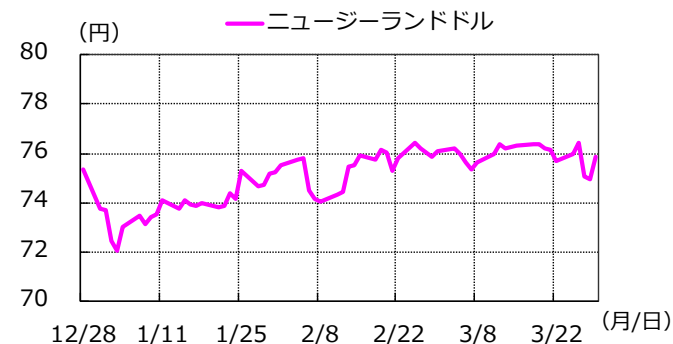
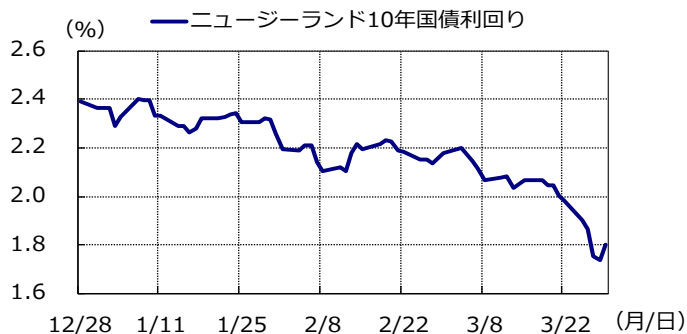
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/28～2019/3/29

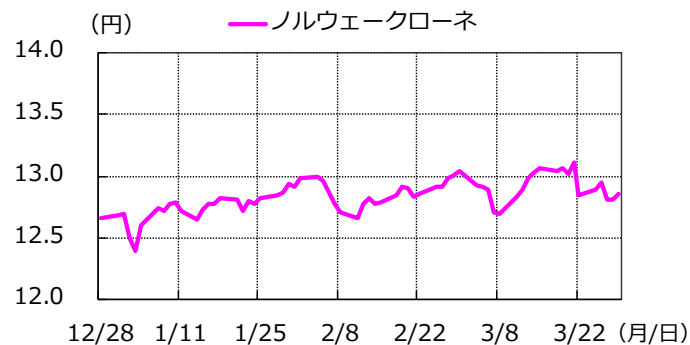
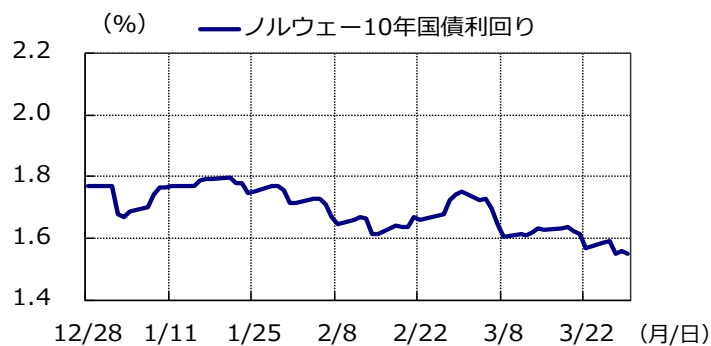
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

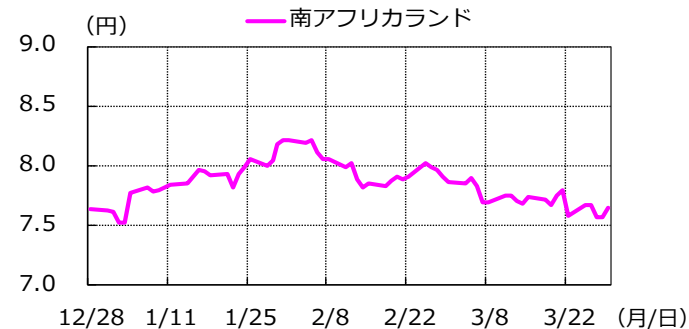
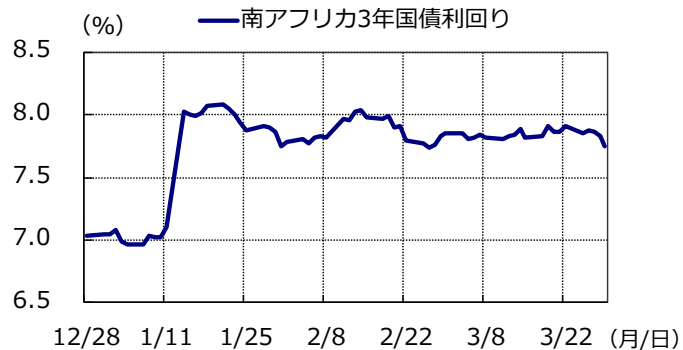


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

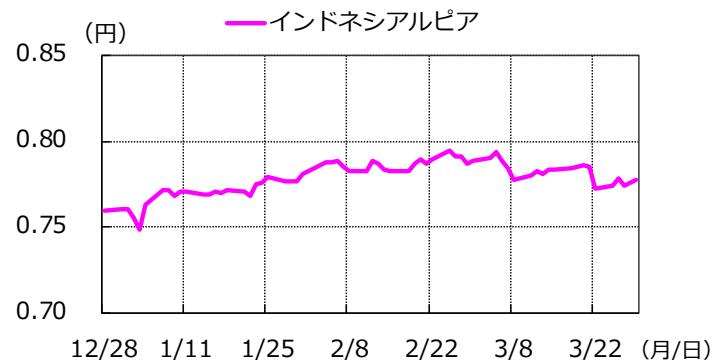
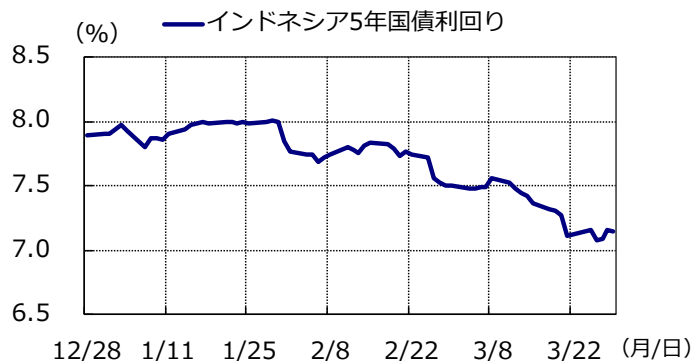
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/28～2019/3/29

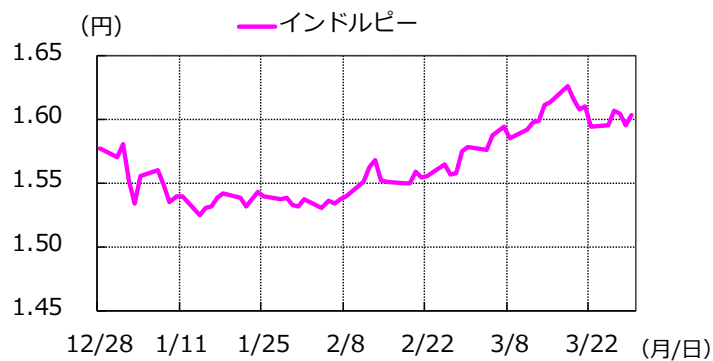
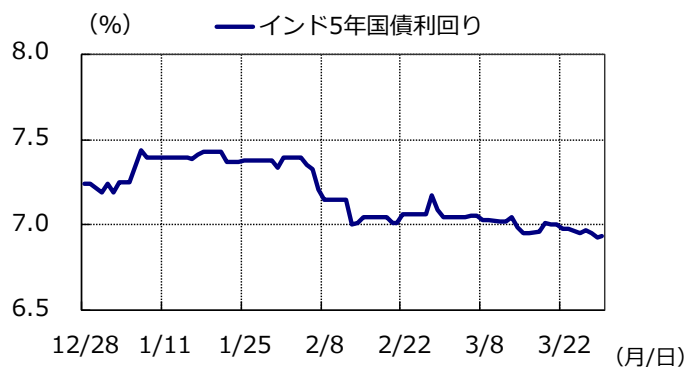
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。